

令和年度 市総合防災訓練実施結果

大田小学校を主会場に、南海トラフ巨大地震（発生確率30年以内60～90%）の発生が高まったとの想定で臨時情報の発表、更に地震後の大雨などの複合災害を想定し、地域住民、自主防災会、防災関係機関及び施設管理者等の協力により、事故なく無事に実施することができました。引き続き、関係機関や市職員等の意見を踏まえ、訓練内容を検証し、防災対策の強化を図ってまいります。

1 実施日時 令和8年1月25日（日）9：00～12：00

2 参加機関 大田地区11自主防災会、43防災関係機関等

3 訓練会場 （主会場）大田小学校（下谷1471-1）
（副会場）消防署南分署（下谷1491）、大田公民館（1474-1）、中央備蓄倉庫（下糟屋3035-1）、東海大学医学部附属病院（下糟屋143）、伊勢原市役所（田中348）、特養らんの里（沼目6-1257）、特養湘南けやきの郷（小稲葉1281）、老健ほほえみの丘（下平間700）、老健ききょう苑（沼目6-1237）

4 参加人数 合計 1,038人（令和6年度は1,111人）

内 訳	参加人数（人）
地域住民（大田地区）	320
関係機関（防災関係機関、協定・事業所等）	317
一般（他地区自主防災リーダー含む）	185
災害ボランティア、学校関係者（教職、生徒等）	68
市職員（地域対策部、応急対策活動班ほか）	129
来賓・市議会議員ほか	19

主な訓練の様子 (NO.1)



災害対策本部運営訓練



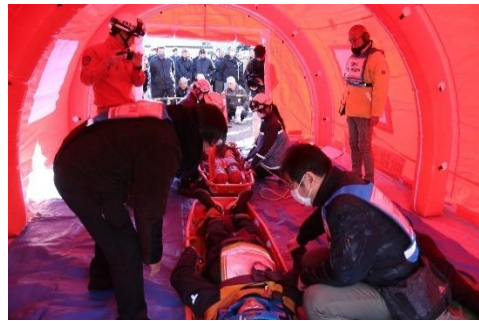
救出・救助訓練



道路啓開訓練



上水道復旧訓練



医療救護所設置訓練



災害廃棄物処理訓練



浸水想定区域・水防訓練



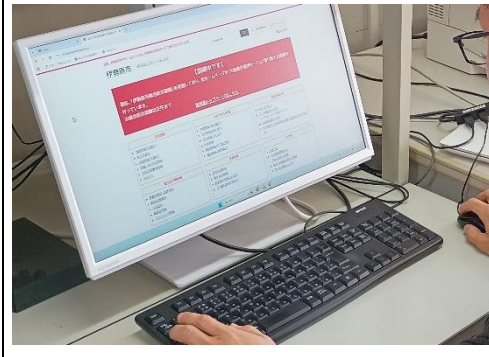
応急危険度判定活動訓練



初期消火訓練



応急給水訓練



市HP災害モード切替訓練



食料配給訓練

主な訓練の様子 (NO.2)



地震体験車



自然災害体験車



心肺蘇生法訓練



感震ブレーカー展示



災害伝言ダイヤル操作訓練



避難所用具設営訓練



伊勢原警察・防災展示



災害時のペット対策 (講話)



災害時のペット対策 (しつけ方)



民生委員児童委員・防災展示



緊急物資搬送連携訓練



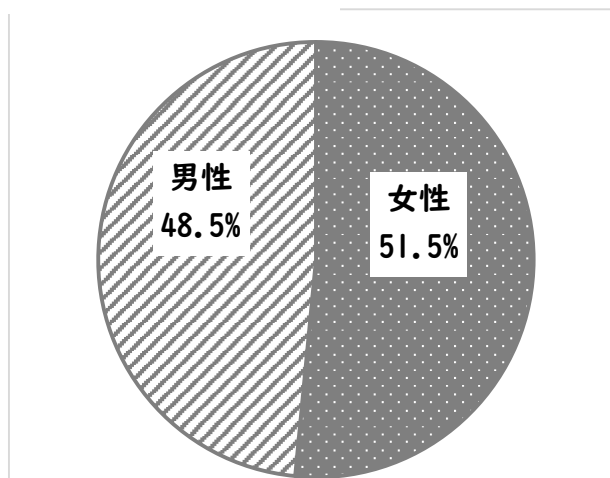
市長講評・あいさつ

令和7年度総合防災訓練実施後アンケート結果

- ◆実施日・場所 令和8年1月25日(日曜日)・大田小学校
- ◆対象者 地域住民(320人)、防災リーダー等(185人)
- ◆アンケート回収率 66人(13.06%)

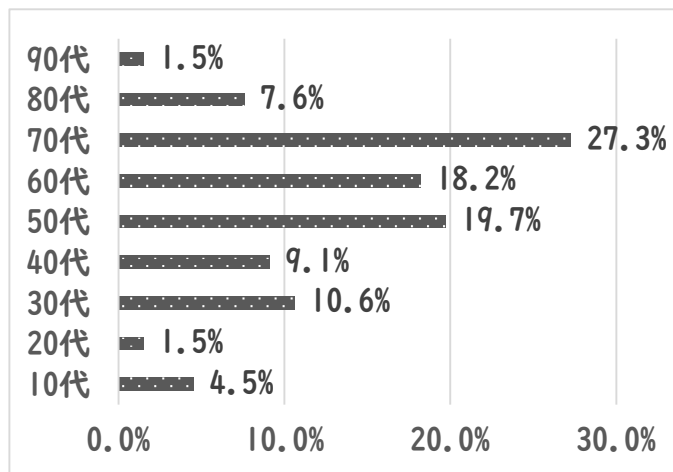
訓練参加者

(1) 性別

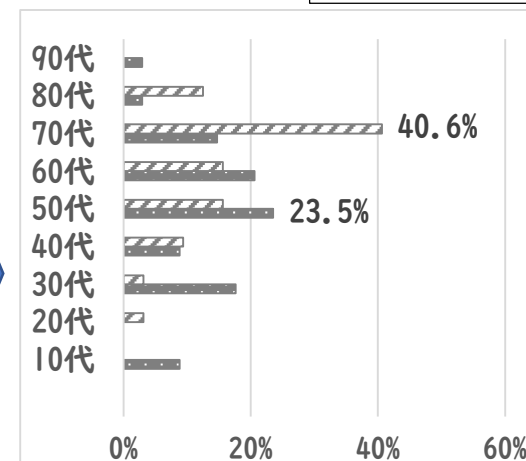


- ◇ アンケート結果から、女性の参加率が過半数を超えています。今回の訓練では、参加・体験型を盛り込んだ訓練メニューを実施した結果だと思われます。
- ◇ 今後も、女性が防災に関心をもってもらえるような訓練メニューを提案してまいります。

(2) 年齢別



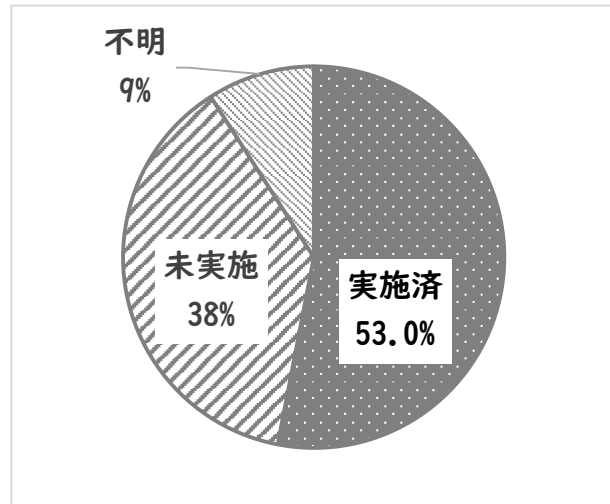
- ◇ 年代別をアンケート結果から分析すると、70代が最も多く、次いで50代という結果でした。
- ◇ 事前に大田小学校の児童に総合防災訓練チラシを作成・配布した結果 10代の参加率(4.5%)がありました。
- ◇ 若年層が防災に関心を持ってもらえるような訓練メニューを提案します。



- ◇ 男女別を年代で分析すると男性は70代が最も多い結果となった。
女性には50代が最も多い結果で10代、30代、60代でも男性を上回る女性の参加がありました。

令和7年度総合防災訓練実施後アンケート結果

問1 訓練放送に合わせて「いっせい防災行動（シェイクアウト）訓練を実践しましたか？



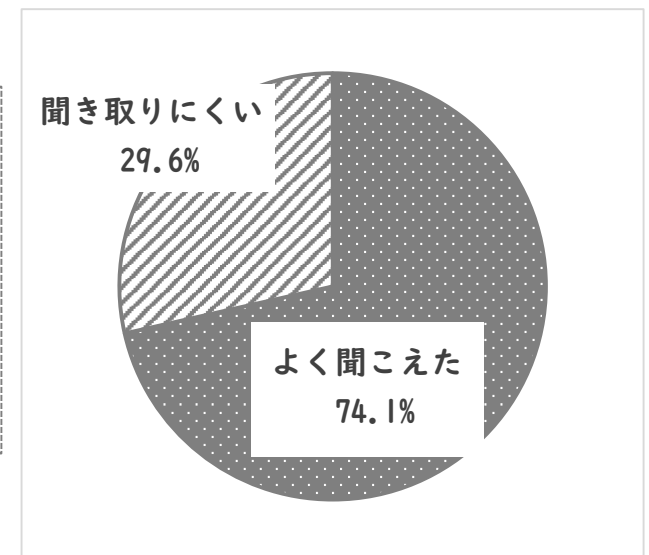
◇ 過半数の方が、本訓練を「実施した」と回答しています。地震が起きたときに自身の身を守るための行動として「①まず低く、②頭を守り、③動かない」を身につけることを目的としています

未実施の方は、地震の際の安全確保行動を身につける機会を逃しています。研修会や訓練等の機会を捉えて実践し、地震に備えましょう。



問2 防災無線放送（防災いせはら）は、聞こえましたか？

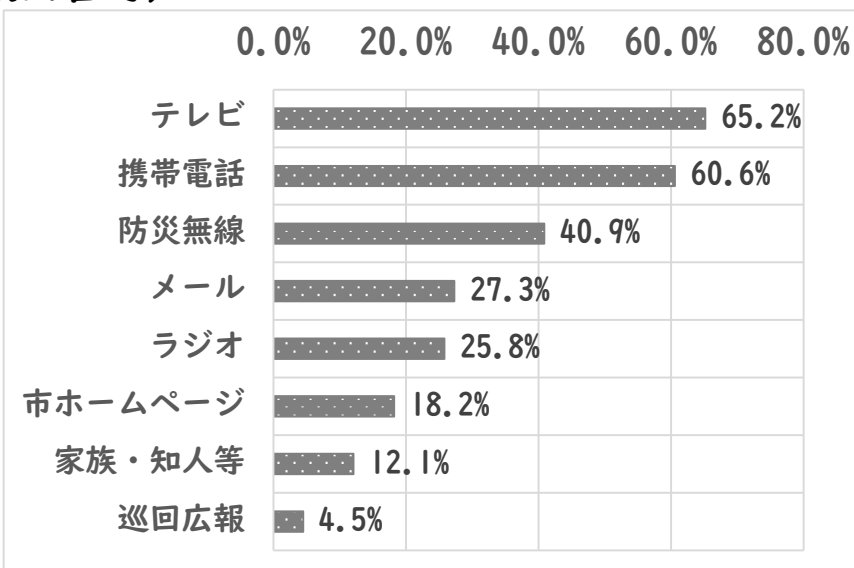
- ◇ 防災無線は1局当たり半径300mを伝達範囲として設計しています。日ごろからミュージックチャイム放送等を活用して、無線放送を確認しましょう。
- ◇ 危機管理課では、放送が聞き取りにくい場合は、スピーカの向き、音量調整等を個別に対応しています（危機管理課直通番号・0463-94-4865）。
- ◇ 防災無線放送は、防災テレホンサービスでも確認できます。電話番号は 050-3204-1788 です。



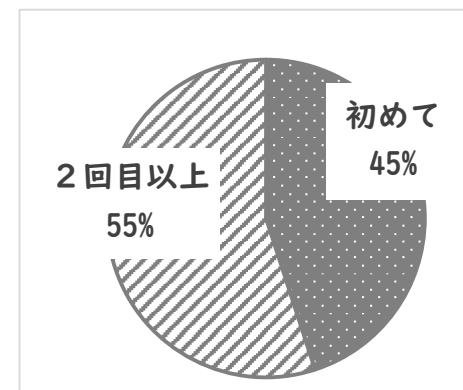
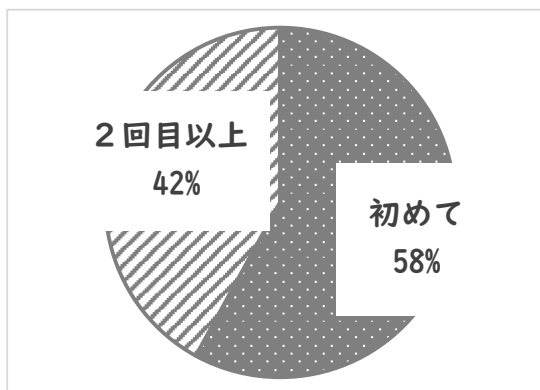
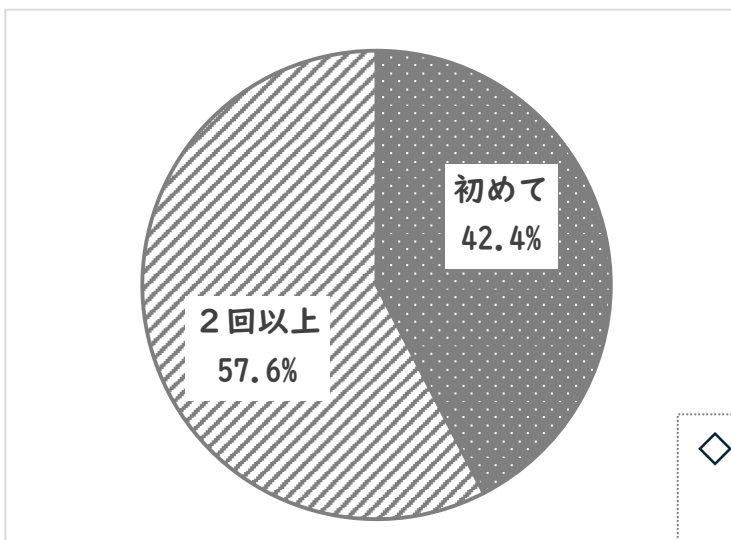
令和7年度総合防災訓練実施後アンケート結果

問3 あなたの、災害情報の入手方法はどれですか？(複数回答可)

◇ テレビ、携帯電話と回答された方が過半数を上回っています。
 停電時はテレビの使用ができません。携帯電話は予備バッテリーを準備する必要があります。
 市でも様々な防災情報を提供していますので、複数の媒体で確認しておくことをお勧めします。



問4 あなたは、市の防災訓練に参加したことがありますか？



◇ 訓練に参加した方を性別で分析すると、女性の「初めて」の方が過半数を超えています。今後も女性が参加しやすい訓練メニューを提案します。

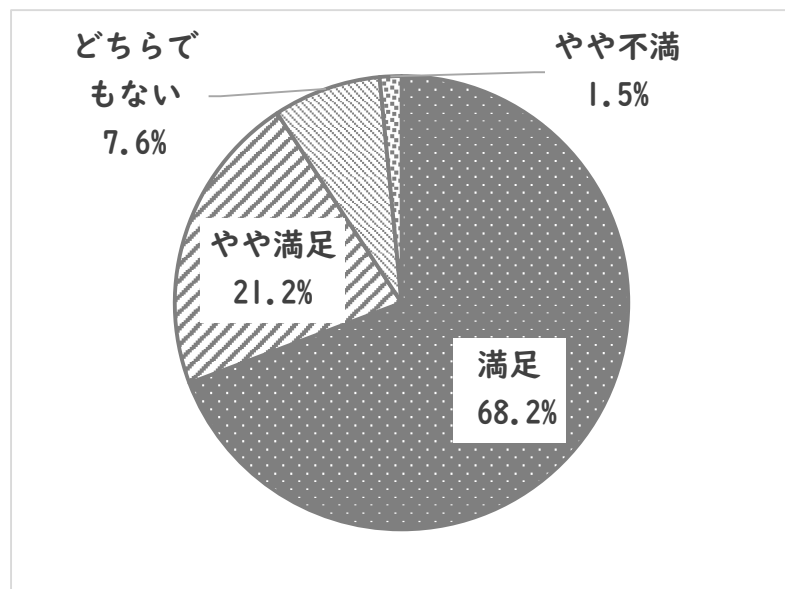
防災情報の入手方法

市では、様々な手段を用いて防災に関する情報を伝達します。
日頃からどのような情報伝達手段があるのか確認しましょう！

<p> 防災行政用無線 (防災いせはら)</p> <p>防災情報を迅速・的確に伝達するための放送設備です。 Jアラートと連動しています。 子局の位置は、洪水・土砂災害ハザードマップに表示しています。</p> <p>(R7.4.1 現在、子局 113 基)</p> 	<p> くらし安心メール (事前登録制)</p> <p>気象情報や避難情報をメールで配信します。次の QR コード、URL で登録できます。</p> <p><URL> https://sa.smart-j.gov.jp/user/manage/iseharaansin</p> <p><QRコード></p> 	<p> 緊急速報メール (事前登録不要)</p> <p>携帯電話会社サービスを利用し、市内にいる全ての人に、避難情報や武力攻撃関連情報等を配信します。 事前の登録は不要です。</p> <p>緊急地震速報!</p>  <p>NTT docomo SoftBank au Rakuten Mobile</p>	<p> 市公式 X</p> <p>市政情報やイベント情報などをお知らせしています。災害時は、緊急情報も配信します。</p> <p> @Isehara_City</p> 
<p> 市公式 LINE</p> <p>市政情報やイベント情報などをお知らせしています。災害時は、避難所開設情報などの緊急情報も配信します。</p> <p> <QRコード></p> 	<p> 市ホームページ</p> <p>市ホームページでも災害情報をお知らせします。同時アクセスが集中しても情報提供できる災害モード機能を搭載しています。</p> <p><URL> https://www.city.isehara.kanagawa.jp/</p> 	<p> 防災いせはら テレホンサービス</p> <p>24時間以内に放送された防災行政無線の内容を、電話で確認することができます(通話料は有料)。</p> <p><専用ダイヤル> 050-3204-1788</p> 	<p> VACAN Maps (バカンマップス)</p> <p>WEBサイト上で避難所の開設情報や混雑状況を確認することができます。</p> <p><URL> https://vacan.com/area/isehara-city-evacuation/evacuation-center/12</p> <p><QRコード></p> 
<p> J:COM 防災情報サービス</p> <p>J:COMの防災情報サービス(有料)に加入すると、宅内で防災行政無線の放送内容を確認できます。</p> <p> </p> <p>【告知端末】 </p>	<p> ヤフー! 防災速報</p> <p>市とヤフー株式会社の災害時協定に基づき、専用アプリから避難情報等を無料で受信できます。</p> <p><QRコード></p> <p> </p> <p>iOS16~対応 Android7~対応</p> 	<p> d (データ) 放送</p> <p>市の避難情報等を自宅の地デジTVやスマホのワンセグ等のデータ放送で確認できます。</p> <p></p>	<p> FMナパサ (78.3Mhz)</p> <p>市と湘南ナパサとの災害時協定に基づき、災害時には市の災害情報等を緊急放送します。 災害時は、ラジオのチューニングを合わせてください。</p> 
<p> FMヨコハマ (84.7Mhz)</p> <p>市とFMヨコハマとの災害時協定に基づき、災害時には市の災害情報等を緊急放送します。 災害時は、ラジオのチューニングを合わせてください。</p> 	<p> いせはら雨量観測マップ (雨量情報)</p> <p>リアルタイムで市内の雨量情報を確認することができます。</p> <p><URL> https://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2014072800145/</p> <p><QRコード></p> 	<p> いせはらWebMaps (地理情報システム)</p> <p>地震、洪水、土砂等の危険度をマップで確認できます。</p> <p><URL> https://www2.wagmap.jp/isehara/Portal</p> <p><QRコード></p> 	<p> 巡回広報の実施</p> <p>市は、避難対象地域の地域住民に対して、消防車等で巡回広報を行います。</p> 

令和7年度総合防災訓練実施後アンケート結果

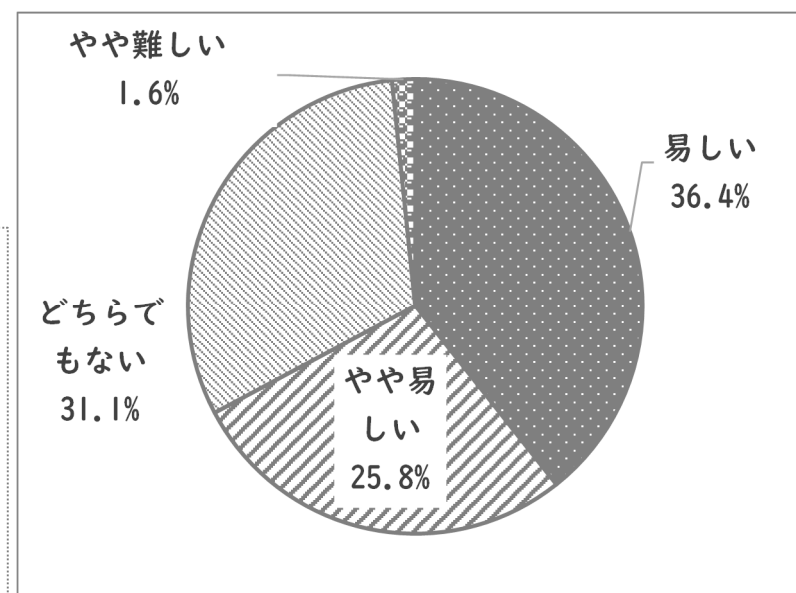
問5 市総合防災訓練の内容はいかがでしたか？



- ◇ 「満足」が68.2%、「やや満足」が21.2%で8割を超える方が満足と回答しています。
- ◇ 今年度の総合防災訓練は、参加・体験型をテーマに開催したことが要因と考えられます。
- ◇ 今後も市民に関心をもってもらえる訓練メニューを提案してまいります。

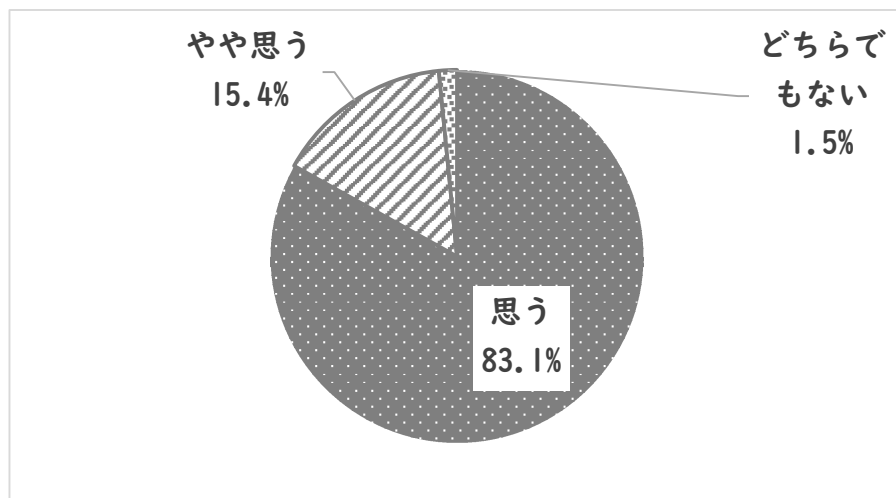
問6 市総合防災訓練内容の難易度はどうでしたか？

- ◇ 「易しい」が36.4%、「やや易しい」が25.8%で全体の6割を超えています。
- ◇ アンケート結果では31.1%は「どちらでもない」と回答しています。次回の総合防災訓練では、参加・体験型の訓練メニューを増加するといった取組も必要と考えます。



令和7年度総合防災訓練実施後アンケート結果

問7 今回の訓練が災害時にも役立つと思いますか？



◇「思う」が8339.6%、「やや思う」が45.1%で合計で8割を超えます。

なお、2回以上参加されている方で「やや思わない」が4.1%、「思わない」が2%と回答されています。

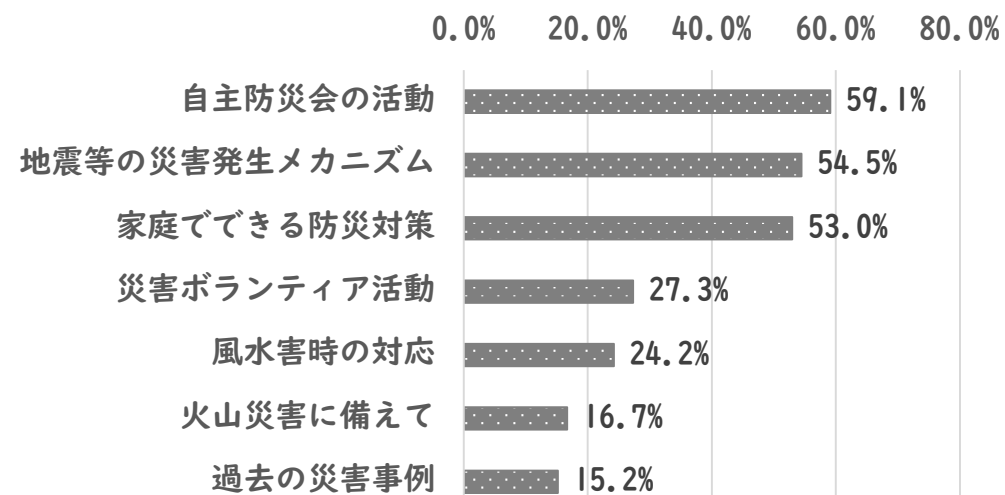
今後は、先進自治体を参考に、災害時に役立つ訓練メニューを提案していきます。

問8 今後、どのような防災知識を得たいと思いますか？(複数回答可)

◇ アンケートの結果から「自主防災会の活動」の要望が最も多く59.1%で、次いで地震等の災害発生メカニズムが54.5%という結果となりました。

◇ 次回の総合防災訓練では、こういった意見を反映させた訓練メニューを提案します。

◇ また、家庭でできる防災対策の要望が多かったことから、地域で行う防災訓練等に盛り込むといった取組を推進してまいります。



令和7年度総合防災訓練実施後アンケート結果

問9 本日の感想や市の防災対策など、お気づきの点をご記入ください。

N0	意見及び感想等
訓練全体の感想	
1	関係者の方々のご苦勞に感謝する。
2	防災知識を得る良い機会となった。
3	新規メニューが増えていてとても良かった。
4	自治会の訓練でも参考にしようと思った訓練がいくつかあった。
5	寒い時期の開催でしたが、防災知識を得る良い機会となった。
6	市は、こうした総合防災訓練を継続してほしい。
7	防災を考えるきっかけとなった。
個別訓練メニューに対するご意見	
8	市が住民に対して何を求めたかったのか、最後まで理解できなかった。
9	主会場内の放送が聞き取りにくかった。
訓練運営・進行に関するご意見	
10	受付時の市職員の対応が良くない。特に説明もなく立っているだけ。災害時、本当に大丈夫？と不安に思った。